

平成 30 年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等

1. 日時：2018年8月18日(土) 13時～15時 会場 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム

13時～15時 本人交流会

13時～14時 カラーセラピー勉強会

講師：玉井美津枝さん 英国カラーセラピスト宜野湾市嘉数在

14時～15時 フンドウ様活動

3. 当日の様子

参加者数 9人（内訳：当事者1名、家族6名、専門職2名）

4. 様子

本日は、カフェを利用されている方のご厚意により、カラーセラピー勉強会が実現しました。英国カラーセラピストとして活躍されているということで、英国のオーラ・マシズム（Aura 光、Soma 身体・存在・エネルギー）を紹介。自身が選んだ色があなたの内面を映し出し、必要としている色を表している。創設者のヴァッキー・ワール氏は全盲の中途障害者で「人は喜ぶために生まれてきた」喜ぶためのテクニックとして、色とその気持ちを知る技術を研究し発展させてきたというご講義でした。本日の参加された皆さま、それぞれの「今日の好みの色」を選び、その色のもつ意味を知り、互いに認めあいながら、笑顔のある講義となりました。日々の生活は、理性が優先された生活となり、自分でも知らない自分の気持ちについて、色を通して学ぶという講義に大変興味深い勉強会となりました。今回のような介護や仕事から離れた内容の勉強会は、リフレッシュに繋がると感じ、また次の企画を行って行きたいと思いました。



北海道の若年性認知症家族会より頂いたゴボウとにんじんで、炊き込みご飯会も行ないました。

以上